

オオサンショウウオの生息する広島県管理河川における 河川工事に関する検討会（第1回）の開催結果について

1 要旨・目的

本県が管理する河川の工事における国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ（絶滅危惧Ⅱ類※）の配慮方針について、多角的な観点から学識経験者の意見を伺うため、第1回検討会を開催したので、結果について報告する。※絶滅危惧Ⅱ類…絶滅の危険が増大している種

2 現状・背景

国の特別天然記念物であるオオサンショウウオは、生息・生育・繁殖可能性が高いと判断される場合には種に応じた環境保全を行うこととされており、本県では現地で生息を確認した河川工事において専用のブロックの採用等により配慮してきたところである。

昨年度、オオサンショウウオが確認されている本県が管理する河川での工事において、オオサンショウウオの専門家より「生息に適さない河川工事が行われている」との指摘がなされている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 開催結果

ア 日時

令和7年11月13日（木） 13：30～16：30

イ 場所

T K P ガーデンシティ広島駅前大橋6階 ホール6 A

ウ 委員

（参考）委員名簿のとおり

エ 説明内容 （委員会資料については後日県ホームページで公表）

内 説 容 明	○オオサンショウウオの生息地の特定及び配慮のあり方 ・生息状況等を踏まえた配慮の範囲
議 事 概 要	・配慮する範囲について、重要性（繁殖域・生息域）による重みづけが必要であるということについて了解が得られた。 ・絶滅しないような幅を持たせた範囲設定としたうえで、公共事業や住民理解などの観点からの検討を行うこととの意見があった。 ・生息に適した範囲であっても生息情報がない地域については、情報のアップデートが必要との意見があった。

(3) スケジュール

第2回検討会を1月頃に開催し、年度内に配慮方針の策定を目指す。

開催回	検討内容
第1回〈11/13〉	オオサンショウウオの生息地の特定及び配慮のあり方
第2回〈1月頃〉	オオサンショウウオに配慮した工法、調査のあり方等
第3回	配慮方針（案）

(4) 予算

—

(参考) 検討会構成員名簿 (50 音順)

意見を求める分野	役 職	氏 名
文 化 財 【欠席】	広島県文化財保護審議会委員 広島市安佐動物公園 園長	阿 部 勝 彦
河 川 工 学	広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授	内 田 龍 彦
生 物 環 境	広島大学 名誉教授	◎ 河合 幸一郎
環 境 保 全 工 学	広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授	金田一 智 規
オオサンショウウオ	広島大学オオサンショウウオ保全対策 プロジェクト研究センター長	清 水 則 雄
希 少 生 物	レッドデータブックひろしま爬虫類・両生類調査部会 調査委員代表	内 藤 順 一

◎：会長